

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	認知症を持たれていても、ご自分の思いを表現したり、出来る事はやり続けることができたり、自分らしい暮らしを続けるための支援を大切にしたい。ご入居者様が主体となる活動を増やした。	その人らしい暮らしを続けるための支援、お一人おひとりの思いや暮らしの希望を大切にしたいケアやプラン作り。その時々生まれるニーズに柔軟な支援で取り組む事ができる。	・ご入居者様主体の自主性のある暮らしを大切にす。例えば、飲みたい物を選ぶ、入れる、ご飯や味噌汁をよそう等の何気ないことから、生活歴や馴染みの暮らし方からその方を知りニーズに対応する。例)農業・教員・デパート努め等々その方の持つキーワードから深く掘り下げ、プランに紐付けていく。	12ヶ月
2	2	季節行事など定期的な交流はあるが、ご入居者様が地域社会の一員と実感できるような日常的な繋がりや交流は少ないと感じる。民生委員・愛育委員・婦人会・老人会・子供会の方々も少ない。事業所として積極的なアプローチができていない。	運営推進会議を軸に、地域とのつながりを意識した取り組みを実施して行く。事業所として地域貢献を積極的に行い、入居者様やご家族様を巻き込んだ関わりを深める。民生委員、愛育委員、婦人会、老人会、子供会の方のご協力を頂きながら進める。	・運営推進会議でホームの取り組みや課題目標、また行事についてもしっかり発信する。 ・認知症サポーター養成講座、コグニサイズ、季節行事を定期的に地域の方をお招きする。 ・ご入居者様も共に(主体に)町内活動への参加をしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。